職業実践専門課程等の基本情報について

学校名 鹿児島キャリアテ	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	D715000 + 10		₹ <u>長名</u>		391-0141 东归自古公山中中 -					
専門学校		昭和63年12月		祐二		鹿児島市谷山中央⊐)99-267-2411					
設置者名		設立認可年		表者名	₹ 8	391-0141	所在地				
学校法人原田	学園	昭和34年10月	月20日 原田	日 賢幸	(住所) 月	鹿児島市谷山中央2 099-268-3101	二丁目4118番地				
分野		忍定課程名	認定学科		専門	士認定年度	高度専門士認定	年度		門課程認定年	
文化・教養	文化	教養専門課程	グラフィック科(2	rック科(2Dコース) 平成		成 27年度			平成	平成 29年度	
学科の目的	業界にとど		:するエンターテイメント				さらに創造力・リーダー	シップ・問題	題解決力に優	れた, クリエイター	
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	中退率:8.6 色彩検定情	3% 協会 2022年度表章 国理美容学校「kawaii	ジ団体(専門専修学校・ 」選手権大会 イメージ	ジキャラクター	の部) 色彩4 -デザインオ-	検定協会奨励賞 −プンコンペ 優秀賞	受賞				
修業年限	昼夜		要な総授業時数又は総 位数 -	静	義	演習	実習	実	験	実技	
2 年	昼	※単位時間、単位いずれ かに記入	1,710 単位時間	225	単位時間 単位	225 単位時間 単位	1,260 単位時間 単位	0	単位時間単位	O 単位時間 単位	
生徒総定員	生徒実	€員(A) 留学生	主数(生徒実員の内数)(B)	留学生害	割合(B/A)				•		
80人の内数	40	Д.	0 人	0) %						
	■卒業者		: 14		Ţ.						
	■就職希 ■就職者	望者数 (D) 数 (E)	: 12 : 12								
	■地元就	職者数(F)	7		人						
	■就職率 ■就職者	(E/D) に占める地元就職者	100 の割合 (F/F)		%						
			58		%						
	■卒業者!	こ占める就職者の割	合 <u>(E/C)</u> 86		%						
就職等の状況	■進学者	数	0		人						
切りませい人が	■その他										
	(令和	4 年度卒業	者に関する令和5年5月	月1日時点の	情報)						
	■主な就師	職先、業界等									
	(令和4年度	卒業生)									
		*甲(W註氨集 +	スター・チラシデザイン	・・手振デ+	P 4. Att > P		ハ,手振デザハ,ロ	TO ENILL AS I	,/年)		
	デザイン 第	たか(稚心柵未, 小.	., ,,,,,,	ノ、 省 収) 、	ナイン寺)、日	」刷業界(商業アサイ	1 ン、11 1以 アッコン、1	コルコイント	<i>,</i> , 4		
				ン、有収)、	ナイン等)、日		1 ン, 1目 f以) リコン, ト	11ml/J ヘレ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
第二者による	■民間の	評価機関等から第、	三者評価:	ン, 省 (放) :	ナイン等)、日	」刷業界(商業でサイ	1 ン, 省 100) リ 1 ン, ト	11m 7 ヘ レ	<i>y</i> 47		
第三者による 学校評価	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、 、例えば以下について	三者評価:			無		11m 7 \C	· / 4		
	■民間の ※有の場合	評価機関等から第	三者評価:	ラ、省 (似) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		無 評	F価結果を掲載した SームベージURL	i1mi1/3 ヘレ	· / 4/		
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、 、例えば以下について	三者評価:			無 評	『価結果を掲載した	i1)かi/3 ヘレ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、 、例えば以下について	三者評価 : 任意記載	受審年月:		無 評	F価結果を掲載した マームページURL	1m / ^ L	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
学校評価 当該学科の	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体:	三者評価 : 任意記載	受審年月:		無 詳 ホ	F価結果を掲載した マームページURL	11miJ ~ C	2 P 47		
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: (時間による算定)	三者評価 : 任意記載	受審年月:		無 詳 ホ	F価結果を掲載した マームページURL	11mij/3 (\rangle \rangle	7 47		
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体:	三者評価 : 任意記載	受審年月:		無 詳 ホ	F価結果を掲載した マームページURL)単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数	三者評価 : 任意記載	受審年月: URL:https://	/www.harada-	無 詳 ホ	F価結果を掲載した マームページURL	270			
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: (時間による算定) 総授業時数 うち企業	三者評価:任意記載	受審年月: URL:https:// 習・実技の	/www.harada-	無 詳 ホ	F価結果を掲載した マームページURL	270 90	単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	三者評価: 任意記載 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	受審年月: URL:https:// 習・実技の	/www.harada-	無 詳 ホ	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0	単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実 等と連携した実験・実	受審年月: URL:https:// 習・実技の打業時数	/www.harada 受業時数	無 許 gakuen.ac.ip/career/	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270)単位時間)単位時間)単位時間)単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し	受審年月: URLhttps:// E習・実技の打楽時数 た必修の実	www.harada 受業時数 徐・実習・実	無 Programme	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270) 単位時間) 単位時間) 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: ・時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	受審年月: URLhttps:// 図で実技の打楽時数 た必修の実見た必修の演習	www.harada 受業時数 徐・実習・実 習の授業時数	無 Programme	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90) 単位時間) 単位時間) 単位時間) 単位時間) 単位時間) 単位時間		
学校評価 当該学科の ホームページ URL	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: ・時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し	受審年月: URLhttps:// 図で実技の打楽時数 た必修の実見た必修の演習	www.harada 受業時数 徐・実習・実 習の授業時数	無 Programme	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90) 単位時間) 単位時間) 単位時間) 単位時間) 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等とと連携した決	■民間の ※有の場合	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: 辞間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	受審年月: URLhttps:// 図で実技の打楽時数 た必修の実見た必修の演習	www.harada 受業時数 徐・実習・実 習の授業時数	無 Programme	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90) 単位時間) 単位時間) 単位時間) 単位時間) 単位時間) 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等とと連携した。	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	受審年月: URLhttps:// 図で実技の打楽時数 た必修の実見た必修の演習	www.harada 受業時数 徐・実習・実 習の授業時数	無 Programme	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況では、	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 業等と連携したインタ	受審年月: URLhttps:// 図で、実技の打楽時数 た必修の実験 た必修の演 ーンシップ の	www.harada 授業時数 後・実習・実 習の授業時数)	無 Programme	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況では、	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し	受審年月: URLhttps:// 図で、実技の打楽時数 た必修の実験 た必修の演 ーンシップ の	www.harada 授業時数 後・実習・実 習の授業時数)	無 Programme	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等の実施洗した況へんの表とでいます。	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 業等と連携したインタ	受審年月: URLhttps:// E習・実技の村業時数 た必修の実 ーンシップの	www.harada 授業時数 後・実習・実 習の授業時数)	無 Programme	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等の実施洗した況へんの表とでいます。	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 業等と連携したインタ	受審年月: URLhttps:// E習・実技の村業時数 た必修の実 ーンシップの	www.harada 授業時数 後・実習・実 習の授業時数)	無 Programme	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況では、	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 業等と連携したインタ	受審年月: URLhttps:// E習・実技の村業時数 た必修の実制 た必修の演 ーンシップ で 業時数	www.harada 授業時数 後・実習・実 習の授業時数) 授業時数)	無 Programmer And Andrews And	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況では、	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第 、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 業等と連携した大クタ	受審年月: URL:https:// 聖習・実技の打業時数 た必修の実 コーンシップの 実習・実技の打業時数	www.harada 受業時数 後・実習・実 習の授業時数) 受業時数 受業時数	無 preserved the second of th	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携機した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について 評価団体: 中間による算定) 総授業時数	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 業等と連携した大変 等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した演習の授 授業時数	受審年月: URLhttps:// 聖習・実技の打業時数 た必修の実 コーンシップの 実際時数 た必修の演 た必修の演 ため修の実 まで表 ないました。	/www.harada浸業時数接・実習・実 書の授業時数浸業時数浸業時数浸業時数浸業時数	無 preserved the second of th	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL 全業等と連携機した況 (A、Bいずれか	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 業等と連携した大変習の授 要と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した演習の授 授業時数	受審年月: URLhttps:// 聖習・実技の打業時数 た必修の実 コーンシップの 実際時数 た必修の演 た必修の演 ため修の実 まで表 ないました。	/www.harada浸業時数接・実習・実 書の授業時数浸業時数浸業時数浸業時数浸業時数	無 preserved the second of th	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携機した況へのといずれんか	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について 評価団体: 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し 業等と連携した大変習の授 要と連携した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した演習の授 授業時数	受審年月: URLhttps:// 聖習・実技の打業時数 た必修の実 コーンシップの 実際時数 た必修の演 た必修の演 ため修の実 まで表 ないました。	/www.harada浸業時数接・実習・実 書の授業時数浸業時数浸業時数浸業時数浸業時数	無 preserved the second of th	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況では、	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について 評価団体: 評価間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企業 うち企業 うち必修 (うち企業 うち必修 (うち企業) ちん企業 (うち企業) ちん (うちん) できる (うちん	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業等数 うち企業等と連携し うち企業等と連携したインタ 等と連携した演習の授 授業等数 うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し うち企業等と連携し	受審年月: URL-https:// 習・実技の計 業時数 た必修の実験 た必修の実験 である。 である。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	www.harada 受業時数 後・実習・実 の授業時数) 受業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数	無 preserved the second of th	F価結果を掲載した マームページURL	270 90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況では、	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について 評価間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企業 うち必修 (うち企 な数による算定) お投業時数 うち企業 (うち企 でうち の専門首 での でその できる	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業時数 うち企業等と連携したインタ うち企業等と連携したインタ 等と連携した実験・実等と連携した演習の授援業時数 うち企業等と連携した演習の授援業時数 うち企業等と連携した演習の授援業時数 「うち企業等と連携したが多ち企業等と連携したインタ	受審年月: URL https:// 聖子・実技の打業時数 た必修の実際 一ンシップの 主響・実技の打撃時数 た必修の実際 大変をの変した。 な必修の実際 にないをの変した。 ながらればいる。 ながない。 ながないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	グwww.harada- 受業時数 後・実習・実 習の授業時数) 受業時数 の授業時数 の授業時数)	無 preserved the second of th	P価結果を掲載した ームページURL /subiect/gra/	270 90 0 270 90 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等の実施洗した況	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について 評価間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企業 うち必修 (うち企 な数による算定) お投業時数 うち企業 (うち企 でうち の専門首 での でその できる	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実 等と連携した演習の授 授業等数 うち企業等と連携し うち企業等と連携した演習の授 援等に対した演習の授 授業時数 うち企業等と連携した方変習の授 授業時数 うち企業等と連携した方変習の授 授業時数 うち企業等と連携した方であり 要等と連携したであり 実等と連携したであり 要等と連携したがあり	受審年月: URL https:// 聖子・実技の打業時数 た必修の実際 一ンシップの 主響・実技の打撃時数 た必修の実際 大変をの変した。 な必修の実際 にないをの変した。 ながらればいる。 ながない。 ながないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	グwww.harada- 受業時数 後・実習・実 習の授業時数) 受業時数 の授業時数 の授業時数)	無 Preserved to the second of	P価結果を掲載した ームページURL /subiect/gra/	270 90 0 270 90 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況では、	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で () を発表 () を発え (三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実験・実験・をと連携した演習の授援業時数 うち企業等とと連携した。 演習の企業等とと連携した 実等と連携したた演習の授援業時数 うち企業等とと連携したた演習の授援業時数 うち企業等とと連携したた演習の授援業時数 うち企業等とと連携したるである。 「これが、の授援を表した。では、の授援を表した。では、の授援を表した。では、の授援を表した。では、の授援を表した。では、の授援を表した。 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	受審年月: URL https:// 聖子・実技の打業時数 た必修の実際 一ンシップの 主響・実技の打撃時数 た必修の実際 大変をの変した。 な必修の実際 にないをの変した。 ながらればいる。 ながない。 ながないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	www.harada- 受業時数 ・実習・実数の授業時数) 受業時数 の授業時数 の授業時数)	無 Frakuen.ac.ip/career/ 技の授業時数 技の授業時数	を価結果を掲載した 一ムページURL /subject/gra/	270 90 0 270 90 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等と連携した況では、	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について 評価間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企業 うち企業 うち企業 うちを必修 (うち企 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実験・実験・をと連携した演習の授援業時数 うち企業等とと連携した。 演習の企業等とと連携した 実等と連携したた演習の授援業時数 うち企業等とと連携したた演習の授援業時数 うち企業等とと連携したた演習の授援業時数 うち企業等とと連携したるである。 「これが、の授援を表した。では、の授援を表した。では、の授援を表した。では、の授援を表した。では、の授援を表した。では、の授援を表した。 「は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	受審年月: URL https:// 聖子・実技の打業時数 た必修の実際 一ンシップの 主響・実技の打撃時数 た必修の実際 大変をの変した。 な必修の実際 にないをの変した。 ながいたが、当該等	www.harada- 受業時数 ・実習・実数の授業時数) 受業時数 の授業時数 の授業時数)	無 Preserved to the second of	を価結果を掲載した 一ムページURL /subject/gra/	270 90 0 270 90 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位		
学校評価 当該学科のホージ URL と業等等とと連携施しした況か に記入)	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で () を発表 () を発え (三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業等数 うち企業等と連携したインタ うち企業等と連携した大変習の授授業等をと連携した大変習の授授業等と連携したた演習の授授業等と連携したた変調の授授業等と連携した方の授援業等と連携したがある。	受審年月: URL https:// 聖子・実技の打業時数 た必修の実際 一ンシップの 主響・実技の打撃時数 た必修の実際 大変をの変した。 な必修の実際 にないをの変した。 ながいたが、当該等	www.harada 受業時数 後・実習・実 の授業時数) 受業時数 の授業時数) (専修学4	無 Frakuen.ac.ip/career/ 技の授業時数 技の授業時数	原価結果を掲載した 一ムページURL (subject/gra/	270 90 0 270 90 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等等のいた に記入) に記入)	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で、例えば以下について 評価間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企業 うち必修 (うち企 東西 できる	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業等数 うち企業等と連携したインタ うち企業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授援業等と連携した方の授業等と連携したがある企業等と連携しまる。 「課程を修了した後、第つの授業等と連携しまる。 「課程を修了した後、第つの授業等と連携しまる。 「課程を修了した後、第つの授業等と連携しまる。	受審年月: URL https:// 聖子・実技の打業時数 た必修の実際 一ンシップの 主響・実技の打撃時数 た必修の実際 大変をの変した。 な必修の実際 にないをの変した。 ながいたが、当該等	www.harada 受業時数 後・実習・実 の授業時数) 受業時数 の授業時数 の授業時数) (専修学権 (専修学権	無 procedure actio/career/ 技の授業時数 技の授業時数	原価結果を掲載した 一ムページURL (subject/gra/) (subject/gra/) (類第2号) (類第2号)	270 90 0 270 90 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位位時間 単位位時間 単位位時間 単位位単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等の実施洗した況	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で (別表 で) (別	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業等数 うち企業等と連携したインタ うち企業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授援業等と連携した方の授業等と連携したがある企業等と連携しまる。 「課程を修了した後、第つの授業等と連携しまる。 「課程を修了した後、第つの授業等と連携しまる。 「課程を修了した後、第つの授業等と連携しまる。	受審年月: URL https:// 聖子・実技の打業時数 た必修の実際 一ンシップの 主響・実技の打撃時数 た必修の実際 大変をの変した。 な必修の実際 にないをの変した。 ながいたが、当該等	www.harada 侵業時数 後・実習・実 習の授業時数) 浸業時数 の授業時数 (専修学権 (専修学権 (専修学権	無 方 方 技の授業時数 技の授業時数 技の授業時数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	原価結果を掲載した (一ムページURL (subject/gra/) (subject/gra/) (第1号) (第3号) (第3号)	270 90 0 270 90 0 0	単単位時間 単単単単単位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位		
学校評価 当該学科のホームのでは、 はないでは、 当該学科の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で (別表 で) (別	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業等数 うち企業等と連携したインタ うち企業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授授業等と連携した演習の授援業等と連携した方の授業等と連携したがある企業等と連携しまる。 「課程を修了した後、第つの授業等と連携しまる。 「課程を修了した後、第つの授業等と連携しまる。 「課程を修了した後、第つの授業等と連携しまる。	受審年月: URL https:// 聖子・実技の打業時数 た必修の実際 一ンシップの 主響・実技の打撃時数 た必修の実際 大変をの変した。 な必修の実際 にないをの変した。 ながいたが、当該等	www.harada 侵業時数 後・実習・実 習の授業時数) 浸業時数 の授業時数 (専修学権 (専修学権 (専修学権	無 方 方 技の授業時数 技の授業時数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	原価結果を掲載した (一ムページURL (subject/gra/) (subject/gra/) (第1号) (第3号) (第3号)	270 90 0 270 90 0 0	単単位時間 単単単位時間 単単位位時間 単単位位時間 単単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単		
学校評価 当該学科のホームのでは、 はないでは、 当該学科の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で (別表 で) (別	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業等数 うち企業等と連携したインタ うち企業等と連携した演習の授授業等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業等と連携した方演習の授授業等と連携した方面を企業等と連携したがある企業等と連携したがある企業等と連携したもの方を企業等と連携しまる者等とは要素をはませた。	受審年月: URL https:// 聖子・実技の打業時数 た必修の実際 一ンシップの 主響・実技の打撃時数 た必修の実際 大変をの変した。 な必修の実際 にないをの変した。 ながいたが、当該等	www.harada 侵業時数 後・実習・実 習の授業時数) 浸業時数 の授業時数 (専修学権 (専修学権 (専修学権	無 方 方 技の授業時数 技の授業時数 技の授業時数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	原価結果を掲載した (一ムページURL (subject/gra/) (subject/gra/) (第1号) (第3号) (第3号)	270 90 0 270 90 0 0	単単位時間 単単単単単位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等等のBいた に記入) に記入)	■民間の ※有の場合 (A:単位	評価機関等から第で (別表 で) (別	三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業等数 うち企業等と連携したインタ うち企業等と連携した演習の授授業等と連携した実験・実等と連携した演習の授授業等と連携した方演習の授授業等と連携した方面を企業等と連携したがある企業等と連携したがある企業等と連携したもの方を企業等と連携しまる者等とは要素をはませた。	受審年月: URL https:// 聖子・実技の打業時数 た必修の実際 一ンシップの 主響・実技の打撃時数 た必修の実際 大変をの変した。 な必修の実際 にないをの変した。 ながいたが、当該等	www.harada 侵業時数 後・実習・実 習の授業時数) 浸業時数 の授業時数 (専修学権 (専修学権 (専修学権	無 方 方 技の授業時数 技の授業時数 技の授業時数 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項 交設置基準第41条第1項	原価結果を掲載した (一ムページURL (subject/gra/) (subject/gra/) (第1号) (第3号) (第3号)	270 90 0 270 90 0 0	単単位時間 単単単位時間 単単位位時間 単単位位時間 単単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単		
学校評価 当該学科のホームページ URL と業等等のBいた に記入) に記入)	■民間の ※ 末の場合 (A:単位	評価機関等から第で () () () () () () () () () (三者評価: 任意記載 等と連携した実験・実験・実験・実験を連携した演習の授授業等をと連携したで、できる企業等とと連携したで、変響をと連携したで、変響をと連携したで、変響をと連携したで、変響をと連携したで、変響をと連携したで、変響をと連携したで、できる企業をできたが、できる者等とと連携をできたが、できる者等をときない。	受審年月: URL https:// 習・実技の打 実時数 た必修修の実演 たか修修の実演 を中数 た必修修の実演 をおります。 ため修のの実演 をおります。 ため修のの表演 ため修のの表演 ため修のの表演 ため修のの表演 ため修のの表演 ため修のの表演 ため修のの表演 ため修のの表演 をおります。	グwww.harada- 受業時数 ・実習・実 ・実理・時数) ・実習・実 ・実習・実 ・実習・実 ・実 ・実 ・実 ・実 ・ ・ ・ ・ ・	無 Frakuen.ac.ip/career/ 技の授業時数 技の授業時数	原価結果を掲載した 一ムページURL (subject/gra/) (subject/gra/) (事第1号) (事第3号) (事第4号) (事第5号)	270 90 0 270 90 0 0	単単位時間 単単単位時間 単単位位時間 単単位位時間 単単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単位位 単		

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	月日 本	交長名			所在地		
鹿児島キャリアラ		昭和63年12月		· 祐二		391-0141 鹿児島市谷山中央二			
専門学校 設置者名		設立認可年		表者名		99-267-2411	所在地		
学校法人原田		昭和34年10月		田 賢幸		891-0141 鹿児島市谷山中央二			
					(電話) (99-268-3101		左左 1 職業	中联末明部和河南左东
<u>分野</u> 文化・教養		認定課程名 :教養専門課程	認定学科グラフィッ			士認定年度 成 27年度	高度専門士認定名	中度 職業	実践専門課程認定年度 平成 29年度
文化*教養	X10	3 教養等门味性	(3D⊐-	ス)	+7	以 27年及			平成 29平及
学科の目的	グラフィッ? 業界にとと	ク業界で必要とされる ぎまらず社会が必要と	コンテンツ制作の技術 するエンターテイメント	f, 知識や柔輔 ・性を有する。	飲な思考力・豊 人材を育成す	豊かな人間性を有し、 さ る。	さらに創造力・リーダーシ	レップ・問題解決	力に優れた,クリエイター
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	中退率:6	資格∶色彩検定1~3ﯘ .7% 協会 2022年度表彰		・その他学校	の部) 色彩	倹定協会奨励賞			
修業年限	昼夜		要な総授業時数又は 位数	総請	毒義	演習	実習	実験	実技
2	昼	※単位時間、単位いずれ かに記入	1,710 単位時間	225	単位時間	225 単位時間	1,260 単位時間 単位	0 単位時	□ 0 単位時間 単位
生徒総定員	生徒到	実員(A) 留学生	三数(生徒実員の内数)(B)	留学生語	割合(B/A)				.
80 人	9	,	0 人	0) %				
00 X	■卒業者				, 				
	■就職希	望者数(D)	2		Ż.				
	■就職者	数(E) : 職者数(F)	2		<u> </u>				
	■記職率		100		%				
		に占める地元就職者	の割合 (F/E)		_				
	■☆娄耂	- 上めて計学を示す	50 4 (E/C)		%				
		に占める就職者の割	40		%				
就職等の状況	■進学者		2		人				
0,0 px 13 07 07/00	■その他								
	(令和	4 年度卒業	者に関する令和5年5	月1日時点の	情報)				
	■主な就	職先、業界等							
	(令和4年度	[卒業生]							
	設計デザ	イン、技術職							
		評価機関等から第3				無			
第三者による	※有の場合	1、例えば以下について(士 恵記載						
学校評価		評価団体:		受審年月:			価結果を掲載した		
							ームページURL		
当該学科の					,				
ホームページ URL				URL:https://	/www.harada-	gakuen.ac.jp/career/	subject/gra/		
ONE	() 24/	Ln+ 111 / - 1 . 7 / - 1 . 1							
	(A: 単位	立時間による算定)							
		総授業時数						270 単位即	持間
		うち企業	等と連携した実験・第	実習・実技の	授業時数			90 単位B	持間
		うち企業	等と連携した演習の技	受業時数				0 単位	持間
		うち必修	授業時数					270 単位日	持間
			うち企業等と連携し	た必修の宝	給・宝翌・宝	はの授業時数		90 単位日	±88
						又少汉未时奴			
			うち企業等と連携し					0 単位8	
企業等と連携した		(うち企	業等と連携したインタ	ヌーンシップ(の授業時数)			0 単位的	持間
実習等の実施状況									
I(A、Bいずれか に記入)	(B:単位	位数による算定)							
		総授業時数						単位	
			等と連携した実験・第	実習・実技の	授業時数			単位	
			等と連携した演習の技					単位	
				× 木町 玖					
		うち必修				LL a let all - 1 - 11		単位	
			うち企業等と連携し			技の授業時数		単位	
			うち企業等と連携し	た必修の演	習の授業時数			単位	
		(うち企	業等と連携したインタ	ヌーンシップの	の授業時数)			単位	
									
		① 専修学校の専門	課程を修了した後、学	学校等におい					
		てその担当する教育	等に従事した者であっ 当該業務に従事した其	って、当該専	(事故学)	交設置基準第41条第1項	第1号)	2 人	
		門課程の修業年限と して六年以上となる		加川こで選昇					
		② 学士の学位を有	する者等		(専修学	交設置基準第41条第1項	第2号)	3 人	
教員の属性(専任		③ 高等学校教諭等	経験者		(専修学	交設置基準第41条第1項	第3号)	0 人	
教員について記		④ 修士の学位又は				交設置基準第41条第1項		0 人	
入)			-2-1 149%-3-1 7						
		⑤ その他			(専修学権	交設置基準第41条第1項	第5号) -	0 人	
		計						5 人	
				おけるおおむフ	ね5年以上の	実務の経験を有し、か	つ、高度	2 人	
		上記①~⑤のうち、 の実務の能力を有す		sけるおおむ [;]	ね5年以上の	実務の経験を有し、か	つ、高度	2 人	

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名 鹿児島キャリアデ 専門学校			置認可年月	48 I :	校長名			所在地			
専門字校			163年12月		▼ 祐二		891-0141 鹿児島市谷山中央				
設置者名			立認可年月		表者名		099-267-2411	所在地			
学校法人原田			34年10月		田賢幸		891-0141 鹿児島市谷山中央				
						(電話)	099-268-3101		·		明明和司力左东
分野		認定課程名		認定学行うフィッ			計 記定年度	高度専門士認定	年度		門課程認定年度
文化・教養	文化	上教養専門	課程	(アニメーショ		平.	成 27年度			平成	29年度
学科の目的				コンテンツ制作の技行 「るエンターテイメン				さらに創造力・リーダー	シップ・問見	題解決力に優	れた, クリエイター
	中退率:1			t, UC級 団体(専門専修学校	・その他学校	の部) 色彩	検定協会奨励賞				
修業年限	昼夜 全課程の修了			な総授業時数又は 立数	総請	講義	演習	実習	実	!験	実技
2	昼	※単位時間、 かに記入	単位いずれ	1,710 単位時間 単位	225	5 単位時間 単位	225 単位時間	1,260 単位時間 単位	0	単位時間単位	0 単位時間
生徒総定員	生徒到	 実員(A)	留学生	型位 数(生徒実員の内数)(B)	留学生語	割合(B/A)	早位	単1/2		早位	- 単位
80 人	12	: 人		0 人) %					
80 人	■卒業者		:	18		人					
	■就職希	望者数(D		16		<u> </u>					
	■就職者	i数(E) :職者数(F)	:	13 9							
	■就職率	(E/D)		81		%					
	■就職者	に占める地	元就職者0	<u>)割合(F/E)</u> 69							
	■卒業者	に占める就	職者の割合			%					
				72		%					
就職等の状況	■進学者			0							
	_ 、 , , , ,										
	(令和	4	年度卒業者	に関する令和5年5	月1日時点の	情報)					
	■主な就	職先、業界	等								
	(令和4年月	度卒業生)									
	アニメ業績	界,イラスト	・レーター,	製造業, 公務員は	か						
	= = = = = =	-:::/ -::::::::::::::::::::::::::::::::	W- L. > Mr —				ÁTT.				
Mr — # 1 = 1 - 7		評価機関等 3、例えば以7					無				
第三者による 学校評価											
			11000.01	7E 10 40			÷1	(付付用ナ桐井) よ			
于汉正Ш		評価団体:	110000	7EX 110-4W	受審年月:			価結果を掲載した ームページURL			
		評価団体:	110000	72×10+W	受審年月:						
当該学科のホームページ		評価団体:	110000	7C 8C 490				ームページURL			
当該学科の		評価団体:	10000	70 HJ 4W			本	ームページURL			
当該学科の ホームページ	(A:単f			nus au-spa			本	ームページURL			
当該学科の ホームページ	(A:単位	立時間による	5算定)	700 MC 1990			本	ームページURL	270	単位時間	
当該学科の ホームページ	(A:単位		5算定) 女		URL:https://	√www.harada	本	ームページURL		単位時間	
当該学科の ホームページ	(A:単位	立時間による	5算定) 女 うち企業等	亨と連携した実験・	URL:https:// 実習・実技の	√www.harada	本	ームページURL	90	単位時間	
当該学科の ホームページ	(A:単位	立時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等	§と連携した実験・	URL:https:// 実習・実技の	√www.harada	本	ームページURL	90	単位時間	
当該学科の ホームページ	(A:単位	立時間による	5算定) 女 うち企業等	§と連携した実験・	URL:https:// 実習・実技の	√www.harada	本	ームページURL	90	単位時間	
当該学科の ホームページ	(A:単位	立時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等	§と連携した実験・	URL:https:// 実習・実技の 受業時数	/www.harada //www.harada 授業時数	-gakuen.ac.jp/career/	ームページURL	90 0 270	単位時間	
当該学科の ホームページ	(A:単位	立時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等	をと連携した実験・ をと連携した演習の 受楽時数	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実!	/www.harada 授業時数 験・実習・実	ホーgakuen.ac.jp/career/ 接の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL	(A:単位	立時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等	きと連携した実験・ きと連携した演習の 段楽時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	URL:https:// 実習・実技の記 受業時数 した必修の実! した必修の演	/www.harada 授業時数 綾・実習・実 習の授業時数	ホーgakuen.ac.jp/career/ 接の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL	(A:単位	立時間による	5算定) 女 うち企業等 うち企業等	をと連携した実験・ を連携した演習の 受楽時数 うち企業等と連携	URL:https:// 実習・実技の記 受業時数 した必修の実! した必修の演	/www.harada 授業時数 綾・実習・実 習の授業時数	ホーgakuen.ac.jp/career/ 接の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL		立時間による総授業時数	5.算定) 女 うち企業等 うち企業等 うち必修拐 (うち企業	きと連携した実験・ きと連携した演習の 段楽時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	URL:https:// 実習・実技の記 受業時数 した必修の実! した必修の演	/www.harada 授業時数 綾・実習・実 習の授業時数	ホーgakuen.ac.jp/career/ 接の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況		立時間による	5算定) な うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業	きと連携した実験・ きと連携した演習の 段楽時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	URL:https:// 実習・実技の記 受業時数 した必修の実! した必修の演	/www.harada 授業時数 綾・実習・実 習の授業時数	ホーgakuen.ac.jp/career/ 接の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による総授業時数	5算定) な うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業	等と連携した実験・ 等と連携した演習の 段業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 等と連携したイン	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実! した必修の演!	/www.harada 授業時数 験・実習・実 習の授業時数)	ホーgakuen.ac.jp/career/ 接の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による	5算定) な うち企業等 うち企業等 うち必修授 (うち企業	きと連携した実験・ きと連携した演習の 段楽時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実! した必修の演!	/www.harada 授業時数 験・実習・実 習の授業時数)	ホーgakuen.ac.jp/career/ 接の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による	5.算定) 対 うち企業等 うち企業等 うち必修拐 (うち企業 (うち企業 な な な で定) な	等と連携した実験・ 等と連携した演習の 段業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 等と連携したイン	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実! した必修の演 ターンシップの	/www.harada 授業時数 験・実習・実 習の授業時数)	ホーgakuen.ac.jp/career/ 接の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による	5.算定) 対 うち企業等 うち企業等 うち必修拐 (うち企業 (うち企業 な な な で定) な	等と連携した実験・ 等と連携した演習の 段業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 等と連携したイン 等と連携した大変	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実! した必修の演 ターンシップの	/www.harada 授業時数 験・実習・実 習の授業時数)	ホーgakuen.ac.jp/career/ 接の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による	5.算定) な うち企業等 うち企業等 うち必修技 (うち企業 算定) な うち企業等 うち必修技	等と連携した実験・ 等と連携した演習の 段業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 等と連携したイン 等と連携した大変	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実! した必修の演: ターンシップの 実習・実技の 受業時数	/www.harada 授業時数 験・実習・実 習の授業時数) 授業時数)	ホーgakuen.ac.jp/career/ 技の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による	5.算定) な うち企業等 うち企業等 うち必修技 (うち企業 算定) な うち企業等 うち必修技	等と連携した実験・ 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 等と連携したイン 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実! した必修の演: ターンシップの 実習・実技の 受業時数	/www.harada 授業時数 験・実習・実 習の授業時数) 授業時数	ホーgakuen.ac.jp/career/ 技の授業時数 技の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による	5.算定) 対 うち企業等 うち企業等 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 ())	等と連携した実験・ 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 等と連携したイン 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	URL:https:// 実習・実技の記念。 受業時数 した必修の実 した必修の演 を一ンシップの 実習・実技の記念。 受業時数 した必修の実 した必修の実 した必修の実 した必修の実	/www.harada 授業時数 除・実習・実 習の授業時数) 授業時数 検・実習・実 数の授業時数	ホーgakuen.ac.jp/career/ 技の授業時数 技の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による	5.算定) 対 うち企業等 うち企業等 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 ())	等と連携した実験・ 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 等と連携したイン 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携	URL:https:// 実習・実技の記念。 受業時数 した必修の実 した必修の演 を一ンシップの 実習・実技の記念。 受業時数 した必修の実 した必修の実 した必修の実 した必修の実	/www.harada 授業時数 除・実習・実 習の授業時数) 授業時数 検・実習・実 数の授業時数	ホーgakuen.ac.jp/career/ 技の授業時数 技の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による	5.算定) 対 うち企業等 うち企業等 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 ())	等と連携した実験・ 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 等と連携したイン 等と連携した実験・ 等と連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携	URL:https:// 実習・実技の記念。 受業時数 した必修の実 した必修の演 を一ンシップの 実習・実技の記念。 受業時数 した必修の実 した必修の実 した必修の実 した必修の実	/www.harada 授業時数 除・実習・実 習の授業時数) 授業時数 検・実習・実 数の授業時数	ホーgakuen.ac.jp/career/ 技の授業時数 技の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による 総授業時勢 並数による 第 総授業時勢	5.算定) 対 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 (うち企業 (うち企業等等 うち企業等等 な うち企業等等 (うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 うち企業等等 (うち企業等等 うち企業等等 (うち企業等等を必修打	をと連携した実験・ を連携した演習の 要果時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 きを連携したイン を連携した演習の 要果時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実! した必修の演: 受業時数 した必修の演: した必修の演: した必修の演: した必修の方: した必修の方:	/www.harada 授業時数 競・実習・実 習の授業時数) 授業時数 検・実習・実 数の授業時数)	ホーgakuen.ac.jp/career/ 技の授業時数 技の授業時数	ームページURL	90 0 270 90	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による 総授業時数 立数による 第 総授業時数	5.算定) 女 うち企業等 うち企業等 (うち企ま す定) 女 うち企業等 女 うち企業等 (うち企ま うち必修材	をと連携した実験・ をと連携した実際・ を実時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した大演習の をと連携したイン	URL:https:// 実習・実技の記号業時数 した必修の実現を必要のできます。 というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	/www.harada 授業時数 競・実習・実 習の授業時数) 授業時数 競・実習・実 の授業時数 の授業時数	な gakuen.ac.jp/career/ 技の授業時数 技の授業時数	ームページURL subject/gra/	90 0 270 90 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間によるを 総授業時数 に と を を を を を を を を を を を を り を り を り	5 算定) 女 うち企業等等 うち企業等等が (うち企業等を対 うち企業等等が うち企業等等が うち企業等等が うち企業等等が うち企業等等が うち企業等等が うち企業等等が うちのある数にある。	をと連携した実験・ をと連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン を連携した演習の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実実 した必修のの実現 した必修の実現 した必修の実現 はないを といるがある。 はないないでは、 はないでは、 はないでは、 はいでは、 はいではいいでは、 はいでは、 はいではいいではいいでは、 はいではいいでは、 はいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいで	/www.harada 授業時数 綾・実習・実 習の授業時数) 授業時数 の授業時数 の授業時数	ホーgakuen.ac.jp/career/ 技の授業時数 技の授業時数	ームページURL subject/gra/	90 0 270 90 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間によるを 総授業時数 に と を を を を を を を を を を を を り を り を り	5.算定) 女 うち企業等 うち企業等等 (うち企業等等 な うち企業等等等 すっち企企業等等等 うち企企業等等等 うち企企業等等等 うち企企業等等等等 うち企企業等等等等 うち企企業等等等を うち企企業等等等を うち企企業等等等を うち企企業等等等を うち企業等等等を うち企業等等等を うち企業等等等を うち企業を な うち企業を な うち企企業を な うち企企業を うち企企業を うち企企業を うち企企業を うち企企業を うち企企業を うち企企業を うち企企業を うち企企業を うち企企業を うち企企業を うち企企業を うちを うちを うちを うちを うちを うちを うちを うち	をと連携した実験・ をと連携した演習の 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン を連携した演習の では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実実 した必修のの実現 した必修の実現 した必修の実現 はないを といるがある。 はないないでは、 はないでは、 はないでは、 はいでは、 はいではいいでは、 はいでは、 はいではいいではいいでは、 はいではいいでは、 はいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいで	/www.harada 授業時数 綾・実習・実 習の授業時数) 授業時数 の授業時数 の授業時数	な gakuen.ac.jp/career/ 技の授業時数 技の授業時数	ームページURL subject/gra/	90 0 270 90 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか		立時間による 総授業時数 ないによる を経授業時数 による ののでは、は、 ののでは、 ののでは	5 算定)	を連携した実験・ 受業時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン を連携したイン を連携した大震習の 受業時数 うち企業等と連携したイン を連携した大震習の を連携した大震習の を実時数 うち企業等と連携 した後、 まで、 を主連携したイン	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実実 した必修のの実現 した必修の実現 した必修の実現 はないを といるがある。 はないないでは、 はないでは、 はないでは、 はいでは、 はいではいいでは、 はいでは、 はいではいいではいいでは、 はいではいいでは、 はいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいで	/www.harada 授業時数 徐・実習・実 習の授業時数) 授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数	ホーgakuen.ac.jp/career/ 技の授業時数 技の授業時数	ームページUR L subject/gra/ 第1号)	90 0 270 90 0 0	単位時間 単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中間 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単位 単単位	
当該学科の ホームページ URL 企業等をと連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれか に記入)		立時間による 総授業時数 総授業時数 による 第 数にとまる 第 数にに乗 を 1 で で の 和の 年 に で で の 2 学 当 例 に で 2 学 士 の に ② 学 士 の に ② 学 士 の に ② 学 士 の に ② 学 士 の に ② 学 士 の に ② 学 士 の に ② 学 士 の に ② 学 士 の に ② 学 士 の に の に か に か に か に か に か に か に か に か に	5算定) 対 うち企業等 等 が (うち企業等 等 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	をと連携した実験・ をと連携した実際・ を要ける。 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン をと連携した大震なのである。 をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した大震なのである。 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 うち企業等と連携 っちる企業等と連携 っちる企業等と連携 っちる企業等と連携 っちる企業等と連携 っちる企業等と連携 っちる企業等と連携 っちる企業等と連携 っちる企業等と連携 っちる企業等と連携 っちる企業等と連携 っちる企業等と連携 っちる企業等と連携 っちる企業等と連携 っちるである。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実実 した必修のの実現 した必修の実現 した必修の実現 はないを といるがある。 はないないでは、 はないでは、 はないでは、 はいでは、 はいではいいでは、 はいでは、 はいではいいではいいでは、 はいではいいでは、 はいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいで	/www.harada 授業時数 綾・実習・実 習の授業時数) 授業時数 の授業時数 の授業時数 (専修学・ (専修学・	ホーgakuen.ac.jp/career/ 技の授業時数 技の授業時数 校設置基準第41条第1項	ームページUR L subject/gra/ i第1号)	90 0 270 90 0 0	単位時間 単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中位	
当該学科の ホームページ URL 企業等の実施 を変した況 (A に記入) に記入)		立時間による 総授業時数 総授業時数 による 総授業 時数 による ない で は ない で で は ない で で で で で で で で で で で で で で で で で で	5 算定)	をと連携した実験・ をと連携した実際・ を楽時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携したる業等と連携 した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実実 した必修のの実現 した必修の実現 した必修の実現 はないを といるがある。 はないないでは、 はないでは、 はないでは、 はいでは、 はいではいいでは、 はいでは、 はいではいいではいいでは、 はいではいいでは、 はいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいで	/www.harada 浸薬時数 綾・実習・実 習の授業時数) 授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数) (専修学・ (専修学・	大の授業時数 技の授業時数 技の授業時数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	- エページUR L subject/gra/ i第1号) i第2号)	90 0 270 90 0 0	単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単	
当該学科の ホームページ URL 企業等と連携した 実で選等の実施状か に記入)		立時間による 総授業時数 総授業時数 による 総授業 時数 による ない で は ない で で は ない で で で で で で で で で で で で で で で で で で	5算定) 対 うち企業等 等 が (うち企業等 等 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	をと連携した実験・ をと連携した実際・ を楽時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携したる業等と連携 した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実実 した必修のの実現 した必修の実現 した必修の実現 はないを といるがある。 はないないでは、 はないでは、 はないでは、 はいでは、 はいではいいでは、 はいでは、 はいではいいではいいでは、 はいではいいでは、 はいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいで	/www.harada 浸薬時数 綾・実習・実 習の授業時数) 授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数 の授業時数) (専修学・ (専修学・	ホーgakuen.ac.jp/career/ 技の授業時数 技の授業時数 校設置基準第41条第1項	- エページUR L subject/gra/ i第1号) i第2号)	90 0 270 90 0 0	単位時間 単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 中位	
当該学科の ホームページ URL 企業で等等と連携機構を と連集がずれか に記入) に記入)		立時間による 総授業時数 総授業時数 による 総授業 時数 による ない で は ない で で は ない で で で で で で で で で で で で で で で で で で	5算定) な うち企業等 特別 (うち企業等 特別 (うち企業等 特別 (うちを企業 を対して) な (うちを企業 (うちを企業 を対して) な (うちを企業 (もので) な (うちを)	をと連携した実験・ をと連携した実際・ を楽時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携したる業等と連携 した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実実 した必修のの実現 した必修の実現 した必修の実現 はないを といるがある。 はないないでは、 はないでは、 はないでは、 はいでは、 はいではいいでは、 はいでは、 はいではいいではいいでは、 はいではいいでは、 はいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいで	/www.harada 浸業時数 綾・実習・実 変習の授業時数) 浸業時数 の授業時数 の授業時数) (専修学 (専修学・ (専修学・	大の授業時数 技の授業時数 技の授業時数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	- エページUR L subject/gra/ 第1号) 第2号) 第3号)	90 0 270 90 0 0	単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単	
当該学科の ホームページ URL 企業等等の と連携機・状況 (A に記入) に記入)		立 時間による を を を を を を を を を を を を を	5算定) な うち企業等 特別 (うち企業等 特別 (うち企業等 特別 (うちを企業 を対して) な (うちを企業 (うちを企業 を対して) な (うちを企業 (もので) な (うちを)	をと連携した実験・ をと連携した実際・ を楽時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携したる業等と連携 した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実実 した必修のの実現 した必修の実現 した必修の実現 はないを といるがある。 はないないでは、 はないでは、 はないでは、 はいでは、 はいではいいでは、 はいでは、 はいではいいではいいでは、 はいではいいでは、 はいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいではいいで	/www.harada 浸業時数 綾・実習・実 変習の授業時数) 浸業時数 の授業時数 の授業時数) (専修学 (専修学・ (専修学・	大の授業時数 技の授業時数 技の授業時数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	- エページUR L subject/gra/ 第1号) 第2号) 第3号)	90 0 270 90 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等等の と連携機・状況 (A に記入) に記入)		立時間による 総授業時勢 が投業 が投業 を経授業 の程 の程 の程 の程 の程 の程 の程 の の の の の の の の の の の の の	5算定) な うち企業等 特別 (うち企業等 特別 (うち企業等 特別 (うちを企業 を対して) な (うちを企業 (うちを企業 を対して) な (うちを企業 (もので) な (うちを)	をと連携した実験・ をと連携した実際・ を楽時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携したる業等と連携 した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実実 した必修のの実現 した必修の実現 した必修の実現 はないといる に必修のの実現 に必修のの実現 に必修のの実現 に必修のの実現 に対した必修のである に当該の に当該の に当該の に当該の に当該の に当該の に当該の に当該の	/www.harada 浸業時数 綾・実習・実 変習の授業時数) 浸業時数 の授業時数 の授業時数) (専修学 (専修学・ (専修学・	大の授業時数 技の授業時数 技の授業時数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	- エページUR L subject/gra/ 第1号) 第2号) 第3号)	90 0 270 90 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業等等の と連携機・状況 (A に記入) に記入)		立 時間による を を を を を を を を を を を を を	5算定) な うち企業等 特別 (うち企業等 特別 (うち企業等 特別 (うちを企業 を対して) な (うちを企業 (うちを企業 を対して) な (うちを企業 (もので) な (うちを)	をと連携した実験・ をと連携した実際・ を楽時数 うち企業等と連携 うち企業等と連携したイン をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携した実験・ をと連携したる業等と連携 した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。 を等と連携した者である。	URL:https:// 実習・実技の 受業時数 した必修の実実 した必修のの実現 した必修の実現 した必修の実現 はないといる に必修のの実現 に必修のの実現 に必修のの実現 に必修のの実現 に対した必修のである に当該の に当該の に当該の に当該の に当該の に当該の に当該の に当該の	/www.harada 浸業時数 綾・実習・実 変習の授業時数) 浸業時数 の授業時数 の授業時数) (専修学 (専修学・ (専修学・	大の授業時数 技の授業時数 技の授業時数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	- エページUR L subject/gra/ 第1号) 第2号) 第3号)	90 0 270 90 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	
当該学科の ホームページ URL 企業で等等と連携機構を と連集がずれか に記入) に記入)		立時間による 総授業時数 に接乗 を担果 を担果 を対して、学 等士の他 を引きます。の他 を対して、学 等士の他 を引きます。の他 を対して、学 等士の他 を引きます。の他 を対して、学 高・の他 を対して、学 高・の他 を対して、学 高・の他	5 算定)	を連携した実験・ を実施した演習の を実施した。 を実施した。 まな企業等と連携 まな企業等と連携したイン を連携したた実演習の を実施したたまである。 まなと連携した者でした者でした者でした者でした者でした者でした者でした。 は変業等と連携	URL:https:// 実習・実技の 実際・実技の した必修のの実際 した必修のの実際 した必修のの実際 した必修ののでは はなーンシップ した必修のの実際 に対象したと必修のである。 となどのである。 となるのでは に対象した。 となるのでは に対象した。 に対象のでは に対	一般では、 一をは、 一をは、	大の授業時数 技の授業時数 技の授業時数 校設置基準第41条第1項 校設置基準第41条第1項	ームページUR L subject/gra/ (第1号) (第2号) (第3号) (第4号)	90 0 270 90 0 0	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間	

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

企業や関係団体等と連携を図り、新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能を授業科目や授業内容に反映し、学生に教授していく為、企業や関係団体等からの意見を十分に活かし、カリキュラムを見直し、改善を図る等の教育課程の編成を行う。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- (1)の基本方針に従い,教育課程編成委員会を設置し,各学科の教科構成について実務に必要とされる知識・技術・技能などが、該当する学科のカリキュラムに反映されているかを確認する。
- 教育課程編成委員会で指摘を受けた内容について,各学科にて分析・検討し,改善すべき項目を委員長である学校長に 報告する。学校長が必要と判断した場合には,改善点を各学科の教育責任者に指示する。
- (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
深尾兼好	全日本CM協議会 鹿児島CM合同研究会 会長	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(2年)	1
池 田 勝三郎	ヴァージョン 代表	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(2年)	3
木 村 誠 治	有限会社インパルス 取締役	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(2年)	3
寺 園 淳 一	株式会社MBCサンステージ 取締役	令和4年7月1日~ 令和6年3月31日 (1年9ヶ月)	3
東祐二	鹿児島キャリアデザイン専門学校 校長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	_
池 田 秀 俊	鹿児島キャリアデザイン専門学校 グラフィック科科長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	_
是 枝 智 美	鹿児島キャリアデザイン専門学校 マルチ系教員	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	_
小 森 友 美	鹿児島キャリアデザイン専門学校 マルチ系教員	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	_
久冨木原 章裕	鹿児島キャリアデザイン専門学校 マルチ系教員	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	_
猪 俣 翼	鹿児島キャリアデザイン専門学校 TV映像音響科科長	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	_
平原大志	鹿児島キャリアデザイン専門学校 マルチ系教員	令和5年4月1日~ 令和6年3月31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。) ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年7月19日 14:00~16:25 第2回 令和5年3月13日 14:00~16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・グラフィック科の学生個人PCの導入

1年生から全員がノートPCを購入することになり、授業ではモニターに自分のPCを接続して受講することにより、 以下のメリットが生まれた。

- ①自宅に授業時と同じPCがあることで授業の復習や演習が可能となり、各自の技術向上が図れる。
- ②講師は自宅でできる課題を出すことが可能となり、授業の進捗が従来より早くなることで教える技術等が増加する。
- ③オンライン授業が可能となり、何らかの理由で登校ができない場合でも授業を進めることができる。
- ・以前から提案があった、2Dコースの写真撮影特別講座を冬休みでの実施に向けて具体的に計画する。

デザイナーとしてカメラマンに指示する際に必要な写真撮影のスキルを磨く場を設けることで、就職後に活かせる。

授業はTV映像音響科の講師に依頼することになるため、冬休みに集中講座を開く方向で検討したい。

場所はライブ実習室を使用可能だが、機材(カメラ&レンズ)を準備する必要がある。

同時に授業可能なのは10名程度の為、グループに分けての授業で実施する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習,実技,演習等は専修学校の教育にとっては非常に重要なものであるため,常に最新の技術や技能を教授する必要がある。そのために本校と企業や関係団体等が密接に連携した体制を構築し,より実践的な職業教育の質の確保ができるよう組織的に取り組む。

また,連携を行う企業等とは協定書等を締結し,校内外で実施される実習・演習等について,指導内容やその学修成果の評価等も含めて,実践的な職業教育を行うものとする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 - (1)の基本方針に従い、次の項目について連携を行う。
 - ①カリキュラムの作成
 - ②実習・演習の計画及び実施
 - ③成績評価及び進級判定等に関する助言
 - ④その他の実習運営上に必要となる事項
- (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
作品制作	「CG基礎」や「イラスト・色彩」「選択」等,専門科目の授業を通じて修得した技術を基に,各自でテーマを設け,オリジナリティを重視した作品を制作し,年2回実施の作品発表会(各学期末)にて,作品のプレゼンテーションを行う。自身の技術力を磨くとともに,スケジュール管理能力とプレゼンテーションカの向上を目指す。	有限会社インパルス

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教員等の研修に関する諸規程第2条のとおり、教員は業務経歴や能力、担当する授業の分野に応じて、実務に関する知識、技術、技能の修得および学生に対する指導力等を修得するために、企業等と連携を図り、研修等を計画的に受講し、常に自己研鑽に努め、教育水準の向上を図る。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 著作権セミナー これだけは押さえておきたい!! 著作権の基礎知識 連携企業等: 東京都知的財産総合センター

期間: 令和4年5月18日(水) 対象: 教員1名

内容 知的財産権の概要/著作権の権利体系/著作者人格権と著作財産権ほか

研修名: マンガ作りに学ぶ人を惹き付けるコンテンツの作り方2022 ~企画編 連携企業等: デジタルハリウッド大学公開講座

期間: 令和4年6月24日(木) 対象: 教員1名

内容 人を惹きつけるコンテンツの作り方/企画方法/実践

株式会社Too Digital NFTビジネスの最新動向から、NFTプロジェクト推進の具体 研修名:

的な実務まで解説

連携企業等: Marketplace 株式会社Too

期間: 令和4年9月8日(木) 対象: 教員1名

内容 NFTビジネスに関する最新動向や、NFTプロジェクト推進に必要な具体的な実務を解説

②指導力の修得・向上のための研修等

多面的にとらえる「心理的安全性」の本質 連携企業等: NTTラーニングシステムズ 研修名:

令和4年6月1日(水)~オンデマンド配信 期間: 対象: 教員2名

内容 「発言しやすい環境づくり」だけでは陥る課題と推進策

大変化の時代に勝ち残る 専門学校経営戦略とは 研修名: 連携企業等: ㈱FCEエデュケーション

期間: 令和4年6月15日(水) 対象: 教職員6名

「2039年ショック」に備える専門学校の勝ち残り戦略、教育力の向上および主体的な学生を育成する 内容

教育機関になるために

心理支援の現状から見えること 連携企業等:原田学園そうだん支援事業所 研修名:

期間: 令和4年7月26日(火) 対象: 全教職員

内容 事例を交えた学園内の心理支援の状況報告と,そこから感じた教職員に必要なスキルのワーク

研修名: 7つの習慣セルフコーチング 連携企業等: ㈱FCEエデュケーション

令和4年8月1日(月),5日(金),22日(月) 対象: 全教職員 期間:

セルフコーチングスキル=「ありたい自分になるために、客観的に自分と対話する技術」を身に付け、 内容

自分の「無意識の思い込み」に気付き、「自己対話力」を高める。

職業教育・キャリア教育財団 研修名: 令和4年度新任教員研修会 連携企業等: 鹿児島県研究研修事業支部

委員会

期間: 令和4年8月23日(火)~25日(木) 対象: 教員3名

「専修学校教育のあり方と授業実践」ほか専修学校教員として必要な基礎的知識の修得 内容

能動的学修 研修名: 連携企業等:職業教育・キャリア教育財団 (職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習)

令和4年9月5日(月),6日(火) 対象: 職員1名 期間:

アクティブ・ラーニングが必要とされる背景と考え方について 内容

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等: Adobe Illustratorで思い通りにデザイン(いろはシリーズ) 研修名:

期間: 令和5年8月25日(金) 対象: 教員1名

内容 「クリエイティブに興味がある初心者向けの「最初の一歩」を応援するコンテンツについて

ChatGPT/Canva AIを使った業務・デザイン制作を超効率 連携企業等: 株式会社WEBESITE 研修名: 化する方法セミナー

令和5年9月28日(金) 対象: 教員1名 期間:

AIを使った業務・デザイン制作を超効率化する方法セミナー 内容

連携企業等: 学校DX戦略アドバイザー事務局 生成AIの利用に関するオンライン研修会 研修名:

令和5年9月1日(金), 5日(火), 8日(金), 22日(金), 29日(金) 期間: 対象: 教員3名

教育での生成AIの利用について、その方向性や活用事例等をシリーズで解説 内容

②指導力の修得・向上のための研修等

7つの習慣セルフコーチング スキルアップ研修 連携企業等: ㈱FCEエデュケーション 研修名:

令和5年6月22日(木), 28日(水) 期間: 対象: 教職員6名

内容 「7つの習慣セルフコーチング講座」実施に向けてのスキルアップ研修 研修名: 防犯研修 連携企業等: 職業教育・キャリア教育財団

期間: 令和5年7月21日(金) 対象: 全教職員

内容 「さすまた」等を利用した不審者対応研修

研修名: データから見る2024年度入学生に求められる学生指導とは 連携企業等: ㈱進研アド

期間: 令和5年7月25日(火) 対象: 教職員8名

内容 入学者数減少と学力低下が専門学校教育に及ぼす影響

研修名: 新任指導力(メンタリング) 連携企業等: 職業教育・キャリア教育財団

期間: 令和5年8月9日(水), 10日(木) 対象: 職員1名

内容 新任指導育成のための目標管理力/新任の能力を引き出すためのメンタリングカの修得

職業教育・キャリア教育財団 研修名: 令和5年度新任教員研修会 連携企業等: 鹿児島県研究研修事業支部

期間: 令和5年8月22日(火)~24日(木) 対象: 教員4名

内容 「学生・教員のための実践心理」「専修学校における職業教育」ほか専修学校教員として必要な基礎的知識の修得

研修名: 変化する社会に求められる人材の傾向と分析 連携企業等: ベネッセコーポレーション

期間: 令和5年9月20日(水)~22日(金) 対象: 教職員2名 内容 社会の変化が及ぼす教育への影響, 企業への実態調査の報告, 専門学校の教育事例紹介

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

教育活動その他の学校運営について,社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し,その達成状況や達成に向けた 取組の適切さ等について自己評価を行うことにより,学校としての組織的・継続的な改善を図る。また,自己評価の結果に 基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果を公表することにより,適切に説明責任を果たすとともに,特色ある学校 づくりを進めることにより,関連業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を教授できるよう学校運営の改善と学校教 育の発展を目指す。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	①学校の理念・目的は定められているか ②社会のニーズ等を踏まえた学生の将来構想を抱いているか ③学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ④各学科の教育目標,育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて 方向づけられているか
(2)学校運営	①学園の運営方針に沿った事業計画が策定されているか ②運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ③人事、給与に関する規程等は整備されているか ④教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか

(3)教育活動 (3)教育活動 (3)教育活動 (4)学修成果 (5)学生支援 (5)学生支援 (6)教育環境	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導 育成など資質向上のための取組が行われているか 職員の能力開発のための研修等が行われているか 就職率の向上が図られているか 資格取得率の向上が図られているか
(4)学修成果 (2) (3) (5)学生支援 (5)学生支援 (6)教育環境	資格取得率の向上が図られているか
(5)学生支援 (5)学生支援 (5) (6)教育理情	就職先企業を訪問するなどして卒業生の実態を把握しているか
(6)教育環境	進路・就職に関する支援体制は整備されているか 学生相談に関する体制は整備されているか 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか 課外活動に対する支援体制はあるか 経済的支援制度利用についての情報提供を行っているか 必要に応じて保護者との連携が図られているか ・卒業生への支援体制はあるか 高等学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
ත්ර	施設・設備は,教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか学内外の実習施設,インターンシップ等について十分な教育体制を整備していか が 防災訓練を定期的に実施しているか
(7)学生の受入れ募集 ②	学生募集活動は適正に行われているか 学生募集活動において,教育成果は正確に伝えられているか 授業料等,徴収する金額はすべて明示しているか
(8)財務 ②	学校の収支のバランスは取れているか 予算編成は教育目標・業務計画と整合性があるか 財務について会計監査を適切に実施しているか 財務の情報公開はされているか
(9)法令等の遵守 ③	法令,専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 個人情報に関し,その保護のための対策がとられているか 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか 自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献 ②	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか学生のボランティア活動を奨励,支援しているか 地域に対する公開講座やイベント支援等を積極的に実施しているか
	留学生の受け入れを行っているか 留学生の受け入れ,在籍管理等において適切な手続き等がとられているか

(3)学校関係者評価結果の活用状況

- (1) 「1.教育理念・目標」に関し、「学生がより教育理念・目標を理解しやすくするために行動指針を添えてはどうか」とのご意見をいただいた。目指す職業が異なっていても、全学生が社会人としてふさわしい行動ができるよう、ディプロマポリシー等に基づいた行動指針の策定に向けて、検討を進めていく。
- (2) 「5.学生支援」に関し、卒業生への支援体制について改善の余地があるため、まずは卒業後にアクセスしやすくなるよう、ホームページの卒業生向けの内容を充実させる。そのうえで、Uターンや再就職等の更なる支援体制強化にも取り組んでいく。
- (3) 「9.法令等の遵守」に関し、個人情報保護、肖像権、法令順守等について様々なご意見をいただいた。学校で取り扱う個人情報は幅広いため、現状の取り組みを確認するとともに、職員一人ひとりがより高い意識を持って個人情報保護や法令順守を行えるよう、研修その他各種注意喚起を行っていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
重 山 茂 仁		令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(2年)	卒業生
大橋 紘一	社会福祉法人常盤会 顧問·理事	令和4年4月1日~ 令和6年3月31日(2年)	企業等委員
宮之原 明子	株式会社清友 代表取締役	令和5年5月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員
新納 武彦	鹿児島情報高校 校長	令和5年5月1日~ 令和7年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

| 試寺の刊行物 * ての他(

https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/files/joho-kokai/R04 gakkouhyouka.pdf

公表時期:令和5年8月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

情報提供の方法は、誰もが比較的容易にアクセスすることが可能な本校ホームページにて公表する。

また、企業や関係団体等の学校関係者に対しては、年度始めに学校関係者評価委員会を開催し、学校長より当該年度の運営方針等を説明し、様々な教育活動の情報の公表を行った上で、実践的な職業教育のための更なる連携を深めるよう依頼を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	①教育理念 ②学校の概要(連絡先等) ③学校の沿革 ④学則等 ⑤「鹿児島キャリアデザイン専門学校」の3つのポリシー
(2)各学科等の教育	①修業年限・定員 ②学科紹介・取得可能な資格 ③「各学科」の3つのポリシー ④シラバス
(3)教職員	①組織図・教職員数
(4)キャリア教育・実践的職業教育	①就職支援 ②卒業後の進路(就職先一覧)
(5)様々な教育活動・教育環境	①学校行事 ②サークル紹介 ③施設紹介
(6)学生の生活支援	①学生寮紹介
(7)学生納付金·修学支援	①学生納付金(入学金·学費·併修費) ②奨学金·教育ローン ③各種免除制度
(8)学校の財務	①財務諸表等
(9)学校評価	①自己評価表 ②学校関係者評価
(10)国際連携の状況	①日本語科設置 ②アドバンス日本語科設置
(11)その他	①高等教育の修学支援制度における機関要件確認申請書 ②職業実践専門課程の基本情報について

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

「ホームページ」・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.harada-gakuen.ac.jp/career/school/joho_koukai/

公表時期:令和5年9月29日

授業科目等の概要

	(3	文化	教養		フィック科2Dコース)											
	:	分類	Į						授	業方	法	場	所	教	員	
	必修	必	自由選択		授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内		専任		企業等との連携
1	0			キャリア デザイン	学校生活上必要な書類作成や学校行事(学園祭やイベント大会等)におけるクラスの話合いを行う「クラス運営」の時間の話とともに、科目「ビジネスマナー」の指導と連携しながら就職活動に必要ながら就職活動に必要なながらができる。また、とを目的とする。また、適宜キャリアセンター職員による講義を実施する。	1 2 通	60	4	0			0		0		
2	0			一般教養	就職試験で実施される一般教養問題に備えて様々な分野の問題に取り組み, 就職試験対策を行う。		60	4	0			0		0		
3	0				社会人としての心構え、言葉遣い、電話対応等、正しい言葉遣いや電話対応などの基本的な知識や動作を学ぶ。教材をもとに基本を学習した後、応用へと発展させる。ロールプレイングを取り入れることで「解る」から「出来る」を目指し、2年次の就職活動に自信を持って取り組めるように学習する。	1 後 2 前	30	2	0			0		0		
4	0			コンピュータ 基礎	現代社会で必須アイテムとなりつつあるグループウェアの概要やメールのマナー等の情報リテラシーを学ぶ。更に、ビジネスソフト(Word、Excel、PowerPoint)の基本操作を修得し、実務で活用できるようになることを目標とする。	1通	45	1		0		0		0		
5	0				PhotoshopとIllustratorの基本的スキルを 修得し、DTPデザインの基礎についても学習 する。		120	4		0		0			0	
6	0			Web デザイン	Webサイトとして完成させる為のHTM L化や、パーツ作成のテクニックなどの ページ制作の細かなノウハウを修得する。		30	1			0	0			0	
7	0			映像編集 • 加工	映像と合成に関する基礎知識を深め、ソフ トの基本操作を修得する。	1 通	60	2			0	0			0	

8	0		CG応用	1年次に修得した映像編集・加工の技術とWebデザインの技術を更に向上させ、それぞれ実践レベルの技術を修得するとともに、UX/UIのデザインの理解を深めた上でのコンテンツ制作を行なう。各項目ごとに課題を出し、課題制作において技術を身に付ける。	2 通	60	2		0		0			0	
9	0		イラスト・ 色彩	テーマに沿って、キャラクターデザイン・ポストカード等の作成をしながら、手描きのイラストの技術を修得する。	1通	60	2			0	0			0	
10	0		デッサン	物の形をよく見て、観察し、陰影や構図、 量感、質感、全体感など基礎知識を学び、 デッサンカを習得する。	1通	60	2			0	0			0	
11	0		色彩検定	色が見えるしくみや、混色、色の分類と三属性、色彩心理や色彩調和また、色色のに関立を身に付ける。また、習り工作性のがでは、多くの人にわりを見いる。といる。というのはいを見ばれる。というのは、はいうのは、というないは、というのは、というは、というは、というは、というは、というは、というは、というは、という	1通2前	75	4	0	Δ		0		0		
12	0		グループ ワーク	実際の業務に沿った流れでチームごとに案件(課題制作)に取り組み、実践的で専門的な技術と、業務に取り組む際に必要な発想力や行動力を修得する。チームとしての行動意識、スケジュール管理、プレゼンテーションカを身に付けることを目標とする。	1後2萬	300	9	Δ		0	0			0	
13	0		作品制作	「CG基礎」や「イラスト・色彩」「選択」等、専門科目の授業を通じて修得した技術を基に、各自でテーマを設け、オリジナリティを重視した作品を制作し、年2回実施の作品発表会(各学期末)にて、作品のブレゼンテーションを行う。自身の技術力を磨くとともに、スケジュール管理能力とブレゼンテーションカの向上を目指す。	1後2通	270	9	Δ		0	0			0	0
14	0		グラフィック デザイン	PhotoshopとIllustratorの実践的な技術を 学ぶと共に、デザインの理論を学び実践力 を修得する。		480	16			0	0			0	
		4	計	14科目					17	10耳	单位 田	寺間	(62	2 単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等			
日数が、各学年の出席すべき日数の3分の2を超えており、教科の出席卒業要件: が時数の3分の2を超え、かつ教科の成績が不可(60点未満)でないこと。また、授業料等が完納していること。	1 学年の学期区分	2 期		
履修方法: 一般科目, 専門科目共に全科目を必修とする	1 学期の授業期間	15 週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

授業科目等の概要

	(文化教養専門課程グラフィック科3Dコース)															
	:	分類	į						授	業方	法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単 位 数	講	演習	実験・実習・実技		校外	専任		企業等との連携
1	0			キャリア デザイン	学校生活上必要な書類作成や学校行事(学園祭やイベント大会等)におけるクラスの話合いを行う「クラス運営」の時間のまるとともに、科目「ビジネスマナー」の指導と連携しながら就職活動に必要な知知就職大術・心構え等を修得し、スムーズな就職活動に繋げることを目的とする。また、適宜キャリアセンター職員による講義を実施する。	1 2 通	60	4	0			0		0		
2	0			一般教養	就職試験で実施される一般教養問題に備えて様々な分野の問題に取り組み, 就職試験対策を行う。		60	4	0			0		0		
3	0			ビジネス マナー	社会人としての心構え、言葉遣い、電話対応等、正しい言葉遣いや電話対応などの基本的な知識や動作を学ぶ。教材をもとに基本を学習した後、応用へと発展させる。ロールプレイングを取り入れることで「解る」から「出来る」を目指し、2年次の就職活動に自信を持って取り組めるように学習する。	1 後 2 前	30	2	0			0		0		
4	0			コンピュータ 基礎	現代社会で必須アイテムとなりつつあるグループウェアの概要やメールのマナー等の情報リテラシーを学ぶ。更に、ビジネスソフト(Word、Excel、PowerPoint)の基本操作を修得し、実務で活用できるようになることを目標とする。	1 通	45	1		0		0		0		
5	0				PhotoshopとIllustratorの基本的スキルを 修得し、DTPデザインの基礎についても学習 する。		120	4		0		0			0	
6	0			Web デザイン	Webサイトとして完成させる為のHTM L化や、パーツ作成のテクニックなどの ページ制作の細かなノウハウを修得する。		30	1			0	0			0	
7	0			映像編集 • 加工	映像と合成に関する基礎知識を深め、ソフ トの基本操作を修得する。	1 通	60	2			0	0			0	

8	0		CG応用	1年次に修得した映像編集・加工の技術とWebデザインの技術を更に向上させ、それぞれ実践レベルの技術を修得するとともに、UX/UIのデザインの理解を深めた上でのコンテンツ制作を行なう。各項目ごとに課題を出し、課題制作において技術を身に付ける。	2 通	60	2		0		0			0	
9	0		イラスト・ 色彩	テーマに沿って、キャラクターデザイン・ポストカード等の作成をしながら、手描きのイラストの技術を修得する。	1通	60	2			0	0			0	
10	0		デッサン	物の形をよく見て、観察し、陰影や構図、 量感、質感、全体感など基礎知識を学び、 デッサンカを習得する。	1通	60	2			0	0			0	
11	0		色彩検定	色が見えるしくみや、混色、色の分類と三属性、色彩心理や色彩調和等、色色のに関連を身に付ける。また、習り、型がインについても学がインについる。また、習り、ではいる場合では、多くの人にわりを見いを見いを見いを見いを見いを見いを引きない。といるのは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	1通2前	75	4	0	Δ		0		0		
12	0		グループ ワーク	実際の業務に沿った流れでチームごとに案件(課題制作)に取り組み、実践的で専門的な技術と、業務に取り組む際に必要な発想力や行動力を修得する。チームとしての行動意識、スケジュール管理、プレゼンテーション力を身に付けることを目標とする。	1後2温	300	9	Δ		0	0			0	
13	0		作品制作	「CG基礎」や「イラスト・色彩」「選択」等、専門科目の授業を通じて修得した技術を基に、各自でテーマを設け、オリジナリティを重視した作品を制作し、年2回実施の作品発表会(各学期末)にて、作品のプレゼンテーションを行う。自身の技術力を磨くとともに、スケジュール管理能力とプレゼンテーションカの向上を目指す。	1後2通	270	9	Δ		0	0			0	0
14	0		3 D C G	3 D C G の基礎的知識と、Mayaのオペレーションの基本から応用までを修得する。		480	16			0	0			0	
合計 14科目									17	/10耳	单位 田	寺間	(62	2 単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間	等
日数が、各学年の出席すべき日数の3分の2を超えており、教科の出席卒業要件:が時数の3分の2を超え、かつ教科の成績が不可(60点未満)でないこと。また、授業料等が完納していること。	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 一般科目, 専門科目共に全科目を必修とする	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

授業科目等の概要

	()	文化	教養	 専門課程グラ	フィック科アニメーションコース)											
		分類	Į				,		授	業方	法	場	所	教	員	
		選択必修	選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習・実技		校 外		兼任	企業等との連携
1	0			キャリア デザイン	学校生活上必要な書類作成や学校行事(学園祭やイベント大会等)におけるクラスの話合いを行う「クラス運営」の時間にするとともに、科目「ビジネスマナー」の指導と連携しながら就職活動に必要な知就職技術・心構え等を修得し、スムーズな就職活動に繋げることを目的とする。また、適宜キャリアセンター職員による講義を実施する。	1 2 通	60	4	0			0		0		
2	0			一般教養	就職試験で実施される一般教養問題に備えて様々な分野の問題に取り組み, 就職試験対策を行う。	1 2 通	60	4	0			0		0		
3	0			ビジネス マナー	社会人としての心構え、言葉遣い、電話対応等、正しい言葉遣いや電話対応などの基本的な知識や動作を学ぶ。教材をもとに基本を学習した後、応用へと発展させる。ロールプレイングを取り入れることで「解る」から「出来る」を目指し、2年次の就職活動に自信を持って取り組めるように学習する。	1 後 2 前	30	2	0			0		0		
4	0			コンピュータ 基礎	現代社会で必須アイテムとなりつつあるグループウェアの概要やメールのマナー等の情報リテラシーを学ぶ。更に、ビジネスソフト(Word、Excel、PowerPoint)の基本操作を修得し、実務で活用できるようになることを目標とする。	1 通	45	1		0		0		0		
5	0			CG基礎	PhotoshopとIllustratorの基本的スキルを 修得し、DTPデザインの基礎についても学習 する。	1 前	120	4		0		0			0	
6	0			Web デザイン	Webサイトとして完成させる為のHTM L化や、パーツ作成のテクニックなどの ページ制作の細かなノウハウを修得する。	1 前	30	1			0	0			0	
7	0			映像編集 • 加工	映像と合成に関する基礎知識を深め、ソフ トの基本操作を修得する。	1 通	60	2			0	0			0	

			1年次に修得した映像編集・加工の技術と Webデザインの技術を更に向上させ、そ											
8	0	CG応用	れぞれ実践レベルの技術を修得するとともに、UX/UIのデザインの理解を深めた上でのコンテンツ制作を行なう。各項目ごとに課題を出し、課題制作において技術を身に付ける。	2 通	60	2		0		0			0	
9	0	イラスト・ 色彩	テーマに沿って、キャラクターデザイン・ ポストカード等の作成をしながら、手描き のイラストの技術を修得する。	1通	60	2			0	0			0	
10	0	デッサン	物の形をよく見て、観察し、陰影や構図、 量感、質感、全体感など基礎知識を学び、 デッサンカを習得する。	1 通	60	2			0	0			0	
11	0	色彩検定	色が見えるしくみや、混色、色の分類と三属性、色彩心理や色彩調和等、色色の分類する基礎知識を身に付ける。また、習していても学れいでも、多くの人にわかりを見いを見極いを見いを見いを見いを引きない。との違いを見極ででは、の違いを引きない。との違いを見極でである。2年次6月とを目標とする。2年次6月にとを目標とはない。	1通2前	75	4	0	Δ		0		0		
12	0	グループ ワーク	実際の業務に沿った流れでチームごとに案件(課題制作)に取り組み、実践的で専門的な技術と、業務に取り組む際に必要な発想力や行動力を修得する。チームとしての行動意識、スケジュール管理、プレゼンテーション力を身に付けることを目標とする。	1後2温	300	9	Δ		0	0			0	
13	0	作品制作	「CG基礎」や「イラスト・色彩」「選択」等、専門科目の授業を通じて修得した技術を基に、各自でテーマを設け、オリジナリティを重視した作品を制作し、年2回実施の作品発表会(各学期末)にて、作品のブレゼンテーションを行う。自身の技術力を磨くとともに、スケジュール管理能力とブレゼンテーションカの向上を目指す。	1後2通	270	9	Δ		0	0			0	0
14	0	アニメーション	アニメーション制作の基礎, キャラクター デザイン, 背景の作成技術を修得する。	1 2 通	480	16			0	0			0	
		合計	14科目					17	10単	位田	寺間	(62	単	位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等					
日数が、各学年の出席すべき日数の3分の2を超えており、教科の出席卒業要件:が時数の3分の2を超え、かつ教科の成績が不可(60点未満)でないこと。また、授業料等が完納していること。	1 学年の学期区分	2 期				
履修方法: 一般科目, 専門科目共に全科目を必修とする	1 学期の授業期間	15 週				

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。